

こばと

守口市民生委員児童委員協議会

編集 広報・調査部会



第70号

守口市京阪本通2-5-5
守口市社会福祉協議会内
〒570-0083 電話 6992-2715



9月定例会 守口市市民保健センターにて

「つくる」楽しみ

ハトでも、鳥でもなく……
「こばと」、何と愛嬌があり親しみの持てる素晴らしい機関紙名であろう！

昭和53年1月に第1号が発行されて以来、守口民児協の動向や地区活動の様子を詳しく伝えてくれて39年、その間に広報委員の技術向上やパソコン等の登場により、創刊号からすれば豊富な内容で紙面や文字も大きく、カラー版で美しく読みやすく様変わりした「こばと」。

今回が第70号となることは大変喜ばしいかぎりで感謝します。

広報・調査部会では、企画から取材・編集・校正を経て

発行にいたるまで「こばと」を自分達でつくりあげる心意気で委員会を開かれ、そこには委員相互のコミュニケーションや、つくる楽しさも生まれ、部会活動として正に意義あるものを感じとれます。

民生委員制度創設100周年を迎えた今日、現代の複雑な社会情勢の中で、私達の任務は今後さらに広範囲にわたり、また多種多様化すると思われまふ。

一方市民から寄せられる期待も大きく、職務の大切さが身にしみるところです。

その活動に対しての基となる情報やアドバイスの提供者として、歴史ある「こばと」がこれからも継続されますことを望みます。

会長 小川 勝



「こばと」創刊号（昭和53年1月）

民生委員制度100周年記念 「全国民生委員 児童委員大会」



天皇・皇后両陛下ご臨席のもと 得能会長よりあいさつ

民生委員制度創設100周年記念「全国民生委員児童委員大会」が天皇、皇后両陛下ご臨席のもと7月9日東京ビッグサイトにて、全国約一万人の委員(守口市より6名)が参加、凜とした雰囲気の中で開催されました。大会では全民連の得能会長より「今後地域に根ざすことを心に刻み、誰もが笑顔で安全に暮らせるよう邁進しよう」とあいさつされました。そして民生委員活動に長年尽力された団体、個人が表彰され両陛下より拍手で祝福されました。



東京ビッグサイトにて

そのあと医師・作家の鎌田實氏による「あたたかい社会をつくる」をテーマに記念講演として大会宣言とスローガン「支えあう住みよい社会地域から」を発表され、そしてアトラクションとして江戸消防記念会によるハシゴを使った演技を披露されました。二日目は、テーマ別研修として六ヶ所の会場に分かれ、これからの民生委員児童委員としての役割などを学ぶ機会となりました。

副会長 村橋 博一

今大会の全行程を終了。東京の空気、景色などを見て帰路につきました。

本大会の運営に関して、お世話いただきました全民連の皆様にお礼を申し上げます。

ローキッズキャンパス



わあ! おいしそう!!

どの子も平等で、決して一人ぼっちでは無い場所をつくり、地域全体で子ども達を育てたいとの強い思いで、大阪国際大学、社協、民児協、よつば小学校がそれぞれの役割を分担して取り組んでいます。学習支援とスポーツやダンス、ゲームを大学生が、民生委員、福祉委員を中心とした食育ボランティアは料理全般を担当し、近隣の農家の協力によるフードロスの活用にも取り組んでいます。大学生と一緒に考え、工夫する事で知った「もったいない」。

共に調理して、「やってみたい、次は私」と子ども達か



汗をかきかき みんなで稲刈り

ら声が出ます。少し苦手だった食材も頑張って食べている様です。アレルギーや衛生面にも気を配ります。「ありがたい」「ごちそうさま」の言葉が響きボランティア全員嬉しい瞬間です。餅つき、田植え、かき氷や稲刈り等、まだまだ続く幅広いプログラムを実施する中で、心身共に豊かで「生きる力」が育って欲しいと願い、子ども達と一日を共に過ごしています。

大井 由喜子

事例 ファイル⑤

ある日近隣の方より、高齢で独り暮らしのおばあさんが徘徊し金銭感覚もないようなのでどうしたらいいかとの相談がありました。早速本人と話し合いましたが、意味不明で理解できず近辺で調査しました。ある店の主人によると、お金を貸したが後で返すといっていたのに借りたことを忘れてしまっているとのこと、また徘徊することが多く近隣の人も心配だとの話がありました。早速社会福祉協議会に相談し金銭管理をお願いしました。さらに包括支援センターに行き、介護について相談した結果、後日ケアマネージャーより連絡が入り手続きが完了したとのこと。今回は地域の情報により早期発見ができました。

民生委員活動をする中で、特に大切なのは人と人との繋がりで、福祉委員会、老人会、町内会等の活動を通じて、地域の人と顔を合わせ挨拶のできる場を多くもつことが、民生委員活動の力になると思います。今回の事例でも、そういった地域の見守りが問題解決につながったのではないのでしょうか。

部会活動報告

障がい・高齢者福祉部会

盲導犬講座



盲導犬 エフォートくん

7月31日、参加者47名で守口市身体障害者福祉会会長の砂原嘉夫さんにお話をさせていただきました。

講座には、奥さんと盲導犬の「エフォート（オス8歳）」と一緒に来ていただきました。砂原さんは、12年前より目が不自由になり、「エフォート」とは、平成22年12月に千早赤阪村盲導犬訓練所で開催、1ヶ月間寝起きを共にして信頼関係を築かれたそうです。

「エフォート」は、毎月健康診断を受け病気にもかからず砂原さんのよきパートナーとして活躍しています。あと1年余りで引退するそうです。

「街で盲導犬にあったら」

①触らない②声をかけない
③目を合わせて気を引かない
④食べ物を与えない等、温かく見守って頂きますよう皆様のご理解とご協力をお願いします。

谷 壽美子

児童福祉部会

三世代ふれあいつ子

みんなが主役 笑顔がたえない広場「三世代ふれあいつ子」を6月24日（三郷小）、7月1日（よつば小）に開催しました。

会場では工作や昔あそび、ゴムとび等、校庭ではスマートボール、わなげ、ガラガラ抽選、かき氷コーナーを設けて、新任の委員さんも大活躍。ペットボトルでけん玉を作るコーナーでは、子どもたちが作りたてのけん玉で、上手に遊ぶ様子に感心しました。



折り紙コーナー

ゴムとびは高学年の男児がだんだん高く、元氣よく跳んで、歓声が上がりました。ガラガラ抽選の目玉商品のカブト虫が、開催4日前に成虫になり、オオクワガタも子どもたちに提供できました。大阪国際大学のブレッパーズの学生さんの協力もあり、会場は笑顔がいっぱいでした。当日FMはなこの取材を受け、18日と20日に放送されました。

大井 由喜子

生活福祉部会

部会研修



講師 今城恵子課長

7月27日、社協会議室にて守口市生活福祉課 今城恵子課長を講師に招き、「生活保護制度について」民生委員との関わりをテーマに部会研修を行いました。

権利と義務に至るまでを詳しく講義していただきました。民生委員との関わりについては、各委員から手厳しい指摘や質問が相次ぎ、生活保護への関心の高さを改めて感じました。

予定の時間を越えそうになり慌てる場面もありましたが充実した研修となりました。「その時は 生活保護とキリギリス」この様では困りますね。

藤井 満洲夫

主任児童委員連絡会

施設見学

7月14日（金）泉大津にある社会福祉法人和泉乳児院を見学しました。

この施設は「戦後の混乱期の子どもたちを何とかしなくては」との思いから地域の民生児童委員によって創設された数少ない施設で、とても身近に感じられました。

より家庭的な雰囲気の中で普通の生活が送れるように日々努力されている関係者の皆さんの凄さ、地域に根付いていることも素晴らしいです。家族と一緒に育っていくことが一番いいのでしょうが、それが叶わない子どもたち

ちにとつてこのような施設で生活できることは幸せなことだと思います。心を育ててもらい困難に負けない人生を歩んで欲しいと思いました。



和泉乳児院にて

台フキン

台ふきんの作成、ありがとうございました。6月の定例会終了後に回収（887枚）と仕分をしました。

認定こども園・小規模保育事業所・幼稚園・小学校・中学校他84箇所へ、6・7月にかけて各地区主任児童委員が届けさせていただきました。続けていくうちに「毎年楽しみにしています。助かっています。」等の嬉しい言葉もいただけました。ひと針ひと針心をこめて縫ってくださった皆様のお陰です。地域の繋ぎ役としてこれからも続けて行きたい活動です。

第1回 河北ブロック主任児童 委員連絡会 研修会

7月3日(月) 守口市市役所1階会議室にて「主任児童委員の子育て支援について」をテーマに山内稔氏(大阪国際大学幼児保育学科教授)に講演していただきました。

子育ては親の役割が大切で責任も大きいが、地域・保育所・学校などが共同して子育てに関わる事が重要。子どものケアを一緒に楽しむこと。その上で援助に必要なことはWITH(ともに居るという態度)WILL(互いに成長しようとする意思)WELL(安心できる雰囲気を持つこと)。「相談援助は水路である」水が流れるように言葉や行動が相手に伝わる水路を作る。対等な立場でないと水は流れにくい。上から目線にならないように心掛けることが大切であるとの講演をお聴きし、長いスパンで考え、その過程を大切にして同じ立場に立って活動を続けて行きたいと思いました。

河北7市から多数ご参加いただき、ありがとうございました。

森 滝子



山内教授の講演に聴き入る参加者たち

第69回 大阪府民生委員 児童委員大会

5月12日(金)、大阪国際交流センターにて、「第69回大阪府民生委員児童委員大会」が開催されました。当日は、大阪府内の民生委員・児童委員をはじめ多くの来賓が出席され、永年功労者等への表彰があり、東京大学玄田有史教授が「希望のチカラ」をテーマに記念講演をされました。



受賞者の皆様
おめでとうございます

平成29年度表彰(敬称略)

〔厚生労働大臣特別表彰〕
守口地区 南部 サク子
橋波地区 綿貫 ヨシ子
南地区 西田 公子
八雲東地区 梶原 溜
八雲東地区 南 進
八雲東地区 福田 達雄
八雲東地区 遠藤 一男
下島地区 酒井 那智子
梶地区 瀧本 隆子
梶地区 坂尻 絹代
東地区 太田 征二
大久保地区 張本 昭治

〔大阪府知事表彰〕
優良民生委員表彰(10年)
滝井地区 清水 千鶴

「もりぐち救急安心
カプセル」
対象年齢を引き下げ



この事業は、病気や災害時に、救急隊員などがご自宅にかけつけた際、迅速かつ適切な救急医療活動が受けられるよう、「緊急連絡先」や「かかりつけ医療機関」などを記入した〈守口市救急安心カード〉などをカプセルに入れて冷蔵庫に保管しておくものです。

配付対象者

- ① 70歳以上の一人暮らしの人(日中お一人になる方も含む)
- ② 障がいのある人

本年8月から対象年齢を75歳から70歳に引き下げ、更なる普及を目指しています。

カプセルをご希望の方は、左記の連絡先(事務局)か、お近くの福祉委員・民生委員にお問合せください。

● 社会福祉法人

守口市社会福祉協議会
事務局

TEL 06-6992-2715

新任民生・児童委員紹介
(敬称略)

平成29年8月1日委嘱

守口地区 石垣 紀子
春日地区 伊藤 智恵子
春日地区 太田 佳宏

編集後記

4月から新米広報部員として編集に携わっています。
6月に3回に渡って広報紙作りの研修会に参加しました。紙面作りのコツやポイントについて講義を受けながら、グループ毎に広報紙を作り上げるという内容でした。

教わる事すべてが新鮮で、府内から集まった80数名の参加者の意識の高さと熱意にも大変刺激を受けました。

未熟ながら、教わった事をこれから活動に生かして、皆さんに喜ばれる「こぼと」を作りたいと思っています。

田畑 睦子